



外国語教育研究会

～円滑な小中接続のために～

2020年度に小学校で、2021年度には中学校で、新学習指導要領が完全実施されました。その際、教科としての外国語が5、6年生に、外国語活動が3、4年生に導入されました。富士河口湖町の小学校では2年間先行実施をしてきましたので、外国語が導入されて、すでに5年が経過します。本センターの事業の一つである外国語教育研究会では、毎年、成果と課題を明らかにし、課題解決に向けて研究を行ってきました。

今年度の外国語教育研究会では、英語教育改善プラン推進事業の指定を受けている小立小学校と湖南中学校の公開研究会に研究員が参加し、指導と評価について授業を通して具体的に学ぶ機会を設けました。

第3回の研究会では、改めて小立小学校の渡邊克吉先生と湖南中学校の小森麻美先生に研究の成果と課題について発表していただき、更に学習を深めました。また、今年度のまとめアンケートを基に小中接続に焦点を当てて、話し合いを行い、「小学校英語の指導事項を確認し、それを踏まえたうえで、中学校英語へと入っていくことが小中の指導のギャップを埋めることにつながっていく」ことが改めて確認されました。



公開授業参観の様子

【新学習指導要領に示されている小学校での指導のポイント】

◎技能・領域の扱いについて

3・4年では2技能3領域（聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]）、5・6年では4技能5領域（聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、読むこと、書くこと）の指導を行う。指導は「聞くこと」→「話すこと」、音声→文字の順に進んでいく。

◎書くことの指導

見本を見ながら書き写したり、単語を入れ替えた文を書いたりすることまで。

単語のつづりの暗記や、文をゼロから考えて書くことは行われない。

*中学校での「書くこと」の指導は、単語のレベルから丁寧に行う必要がある。

◎授業の特徴

音声を中心とした活動型の授業が中心。アクティビティと呼ばれるゲーム等の活動で、英語によるコミュニケーションを楽しむ（高学年も同様）。

*中学校の指導においても、導入期にはアクティビティを取り入れるなどの工夫が大切。

◎文法の指導

文法の指導は行われず、文法用語にも触れる必要がない。

*参考資料 教育出版「中学英語の先生のための小・中接続ガイド」

小学校 6 年生対象

春休み英語学習応援教室

今年度初めて春休み英語学習応援教室が開かれます。小学校で学んできたことの中から、中学校の英語を学ぶときに大切なことを選んで楽しく復習します。この時間を有効に使って中学校英語へスムーズに入ってほしいと思います。講師は英語支援員の八色正代先生・奥真理先生・渡辺真祐子先生の 3 名です。

1. 日時 1 回目 令和 5 年 3 月 23 日 (木) 9:00~10:00
2 回目 令和 5 年 3 月 28 日 (火) 9:00~10:00
2. 場所 富士河口湖町中央公民館 2 階 視聴覚室
3. 内容 小学校英語の復習

くすりの使い方や役割について考えよう

船津小学校 6 年生



赤池先生の授業の様子

船津小学校 6 年生を対象に「くすりの使い方や役割」についての授業が行われました。講師は校医で薬剤師の赤池久男先生です。

薬を正しく使うためには「何で飲むか?」「いつ飲むか?」「何回飲むか?」がとても大切であることを実験を交えながら、説明していただきました。お茶で飲んだ時と、水で飲んだ時の実験では明らかに違いがわかり、子どもたちからは「絶対水で飲んだ方がいいことがわかる。」といった声が聞かれました。薬

をしっかり胃まで届けるためにはコップ一杯の水が必要であることが説明されると、みんな納得の表情でした。最後に、「間違った使い方をすると、効き目が弱くなったり副作用が見られたりするのできまりを守って飲むことが大切です。」と、まとめのお話がありました。



授業に集中する子どもたち

寒さに負けず全校長縄跳び

大石小学校

大石小学校では、業前体育タイムに全校長縄跳びに取り組んでいます。

縦割り班ごとにグループになり、寒さに負けずに練習に励んでいました。上級生が下級生に優しく声をかけると、下級生のやる気も高まり、少しずつ上手になっていきました。練習の最後には何回跳べたかを競い合い、前回よりも多く跳べたチームからは歓声が上がっていました。



全校長縄跳びを楽しむ子どもたち

子どもの運動不足や体力低下は社会的な問題にもなっています。全校みんなで楽しみながらできる大石小学校のこの取り組みは、子どもたちの体力を維持・向上させるためにも続けてほしいものです。

